

平成29年度

外部評価報告書

平成30年3月

八街市行財政調査会

1 外部評価の目的

八街市が実施する行政評価において、行政内部による事務事業評価に外部の視点を加え、評価における客観性や透明性を確保し、事務事業の改善を推進することを目的に外部評価を実施しました。

2 外部評価員の構成

八街市行財政調査会の職務に基づく外部評価であり、八街市行財政調査会委員名簿は以下のとおりです。

八街市行財政調査会委員名簿

役職名	氏名	所属等
会長	関谷 昇	学識経験者（千葉大学教授）
副会長	京増 良男	学識経験者（元八街市監査委員）
委員	林田 博之	学識経験者（元富里市職員）
委員	治部 登美子	市民代表（市民団体共同代表）
委員	吉田 昌弘	学識経験者（元市立中学校校長）
委員	玉川 寛治	公募委員

3 外部評価の流れ

（1）評価対象事務事業の選定

行政内部では、平成28年度決算のうち、人件費等を除いた396の事務事業費について、自己評価を行いました。

（昨年度まで「八街市総合計画2015」前期基本計画における主な計画事業を対象としていたものを変更しました。）

外部評価では、396事務事業費から事務局で約50事業費まで絞り込み、その中から調査会において7事業費を選定しました。

(2) 担当課ヒアリング及び評価作業

①事業概要等の説明（10分）

担当課から事業概要の説明を受け、事業の内容、課題・問題点等を把握しました。

②質疑応答（20分）

事業概要の説明や資料から読み取れない部分は、「質問書」によるやりとりや、質疑応答により疑問点等を解消しました。（質疑応答終了後、担当課は退席。）

③評価（30分）

ヒアリングの結果を踏まえ、各事業の今後の方向性等について委員間で議論し、評価を行いました。

4 会議の開催経過

平成29年度八街市行財政調査会の開催日及び主な内容は、以下のとおりです。

平成29年度八街市行財政調査会の会議日程

開催日		主な内容
第1回	平成29年8月21日（月）	・外部評価の進め方とスケジュールについて ・外部評価対象事務事業の選定方法について
第2回	平成29年9月22日（金）	・外部評価対象事務事業の選定
第3回	平成29年11月17日（金）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号1～3）
第4回	平成30年1月11日（木）	・担当課ヒアリング及び評価作業 （番号4～6）
第5回	平成30年3月14日（水）	・外部評価報告書の提出

5 外部評価の結果

事業の方向性を、「事業継続」「事業廃止・休止」「事業完了」の中から判定しました。

また、「事業継続」と判定した事業費については、さらに「拡充」「現状維持」「見直し・改善」「縮小」の中から判定を行いました。

この結果、以下のとおり、2つの事業費を「事業継続」で「現状維持」、3つの事業費を「現状維持」で「見直し・改善」、1つの事業費を「現状維持」で「縮小」、1つの事業費を「事業廃止・休止」と評価しました。

なお、個々の事業費の評価の過程における委員の主な意見、事業の方向性に関するコメントは、P4以降に掲載した「平成29年度外部評価結果（事業費別）」のとおりです。

平成29年度 外部評価結果（概要）

番号	事業費名	担当課	外部評価結果	主な意見等
1	商店街振興事業費	商工 観光課	事業継続 - 見直し・改善	P4
	商工業振興費	商工 観光課	事業継続 - 現状維持	P4
2	商工会議所事業補助費	商工 観光課	事業継続 - 縮小	P5
3	佐倉市八街市酒々井町消防組合費	防災課	事業継続 - 現状維持	P6
4	ふれあいバス運行事業費	企画 政策課	事業継続 - 見直し・改善	P7
5	移住定住促進事業費 (まち・ひと・しごと創生事業)	企画 政策課	事業廃止・休止	P8
6	児童クラブ管理運営費	子育て 支援課	事業継続 - 見直し・改善	P9

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	1-1, 1-2
事務事業名	商店街振興事業費(1-1)、商工業振興費(1-2)
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成13年策定「八街市中心市街地活性化基本計画」、平成16年策定「八街TMO構想」とともに10年以上経過しており、人口減少等、現状を踏まえた計画に作り直す必要があるのではないか。 ・ 「商店会等街路灯電灯料補助金交付要綱」では、支出する電灯料の1/3以内を補助することとしているが、このような規定方法でよいのか。 ・ どういう人が、どういう形で商店街に足を運んでいるのか捉えるべきで、補助金のチェック体制としても、家賃補助している「ギャラリー悠友」来場者の傾向及び実数は把握するべき。 ・ 空き店舗の家賃補助だけで商店街振興は難しい。行政としては商店街と色々な他分野の人達をマッチングさせるなど、商店街だけに任せるという発想からの脱却が必要ではないか。
事業の方向性 (1-1 商店街振興事業費)	<p>■ 事業継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性 (1-2 商工業振興費)	<p>■ 事業継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<p>(商店街振興事業費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費単体としては現状維持だが、今後は、例えば、街路灯の補助も商店街だけでなく、地域全体の防犯の視点から捉える等、もう少し大きい視点で商店街振興をどう考えるかが問われる。今のやりかたで良いのか、という意味で「見直し・改善」とした。 <p>(商工業振興費)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ、カタログの配布方法は、厳密に管理・検証していく必要があるが、事業としては概ね問題ないので「現状維持」とした。

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	2
事務事業名	商工会議所事業補助費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジンジャーエール普及促進事業補助は、広告・宣伝費等に補助するのならわかるが、製造過程への補助、更に売上を次年度会計に繰り越すのが良いのかどうか疑問。 ・ 商工会議所への補助金額は例年、前年度並みを基本に決定しているようだが、市としては、個々の事業の成果を問うべきではないか。補助事業の成果検証がプロセスとして出来ていない。 ・ 全国的には、商工会議所だけで自己完結するのではなく、自治会、学校やNPO等で連携して行う事業のパイプ役としての役割を果たしている会議所もある。TMO構想の運用状況が典型的な事例で、各種活動や各種団体との繋がりがあってTMOは成り立つはずだが、本市の商工会議所が繋ぎ役を果たしているかどうか、また、そのような活動に対する市からの補助となっているのかどうか問われてくるのではないか。 ・ 商工会議所として、地域との接点づくりとか、先進地から講師を招いて講座を開催する等、地域を活性化するための企画をどんどん立ててもらって、そこに市が支援していくべきではないか。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業費を単純に削るのでなく、事業フレームそのものの見直しも含めて事業内容を再検討する必要がある、という意味で「縮小」とした。 ・ 商工会議所への補助は必要だが、今の枠組みで良いのか疑問で、補助金の使途、目的、成果を問う必要がある。縮小しながら一度事業を捉えなおし、別な形で有効な補助金の出し方を検討し、あらためて会議所に提示するべきではないか。 ・ 現行の「商工会議所運営事業補助金交付要綱」では、個々の事業の成果を検証できない。補助金の効果をチェックするためには、運営に対する補助ではなく、事業に対する補助にするべきであり、要綱の改正が必要と思われる。

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	3
事務事業名	佐倉市八街市酒々井町消防組合費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 南部出張所に救急消毒室がないとのことだが、組合議会には本市からも議員を出しているのだから、最低限必要なものであれば、要望するべきだと思う。 ・ 現行の組合方式と、市単独運営の場合で、金額的に見てどちらが少ない予算で済むのか。国で定める整備水準を基にして比較すると現行の方が少ない負担で済むとのことだが、実状に即してひとつひとつを積算しないと、実額はわからないのではないかと。
事業の方向性	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 事業継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業廃止・休止 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p> <input type="checkbox"/> 事業完了 </p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市単独で運営できるのか、また、金銭的に単独運営と組合方式でどちらが有利なのか判断しづらいところもあるが、消防に限らず、単独自治体でカバーできることは限られており、今後、組合方式で行う行政事務事業は増えると思われる。そのため、「現状維持」とした。

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	4
事務事業名	ふれあいバス運行事業費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域公共交通協議会での議論を経て、路線を見直し再編したばかりなので、様子を見ないといけない。 ・ 今まで再編事業を優先していたとのことだが、今後はバスの広告収入について、進めていただきたい。 ・ バス路線見直しの補完としての高齢者外出支援タクシー利用助成制度は、現在は想定の範囲内だと思うが、今後は利用者が増加し、支出が膨らむことが予想される。以前デマンドタクシーを検討した際は採用には至らなかったようだが、他の形態での実施も含めて必要性が出てくるかもしれないし、市民ニーズの変化に合わせて、今後も対応については検討・議論が必要になると思われる。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p style="text-align: center;">□ 拡充 □ 現状維持 ■ 見直し・改善 □ 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業廃止・休止</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 路線再編については、まだ本格的に成果が出ている段階ではないので、少し様子を見守っていく必要がある。 ・ 公共交通全体のあり方として、1つは既存民間バスにどのような協力がいただけるか検討するべきだし、ふれあいバスについても広告収入や、利用客の増加に向けて、働きかけをさらに充実させる必要がある。 ・ 今すぐという話ではないかもしれないが、高齢者タクシー券の利用者が増えて、市が財政的に厳しくなることが予想されるため、地域の方々の協力を含めて検討する必要があると思われる。以上を踏まえて「見直し・改善」とした。

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	5
事務事業名	移住定住促進事業費（まち・ひと・しごと創生事業）
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家バンク事業を実施する市の目的が見えてこない。防災面とか、住宅施策とか、人口、税収を増やすとか、市の目的を全面に出さずにこのまま続けても無駄ではないか。 ・ 現行の要綱だと金銭的給付はないし、この事業を使うメリットが感じられないから、成約件数が少ないのだと思う。 ・ 例えば、空き家を小さな福祉の拠点とか、市民活動を行う場所として利用するなど、地域活性化に特化してこの事業を実施するのも方法のひとつではないか。 ・ 若い人を呼んで、住めるようにするためには、建物だけでなく土地も合わせて考えて、クラインガルテンのようなシステムを作るのも方法のひとつではないか。
事業の方向性	<p><input type="checkbox"/> 事業継続</p> <p style="padding-left: 40px;"><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し・改善 <input type="checkbox"/> 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止・休止</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><input type="checkbox"/> 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移住定住促進とは謳われているものの、今ひとつ方向性が曖昧で見えてこない。空き家バンクを促進するとしても、今のままでは民間事業者との違いがわからない。 ・ 何故、市の施策として行うのか、空き家を具体的にどのように活用するか考え直さないと、成果には繋がってこないと思われる。 ・ 完全になくしてしまうという意味ではなく、事業の再構築を検討されたい、という意味で「事業廃止・休止」とした。

平成29年度外部評価結果（事業費別）

番号	6
事務事業名	児童クラブ管理運営費
委員の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算と決算額を見比べたときに、不用額が多いように感じる。予算の補正はしなくてよいものなのか。 ・ 学校との連携について協議中とのことだが、空き教室の活用も含めてまだ改善の余地はあると思われる。 ・ 委託先として、社会福祉協議会以外の主体も検討した結果、金額的に断念したとのことだが、それでも事業の改善に向けて、人件費も含めて事業の成果を評価する体制は必要で、実施事業への評価も行うべきである。ただ、市からの委託事業なので、問われるべきは指示を出す市側の姿勢だと思う。
事業の方向性	<p>■ 事業継続</p> <p style="text-align: center;">□ 拡充 □ 現状維持 ■ 見直し・改善 □ 縮小</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業廃止・休止</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>□ 事業完了</p>
事業の方向性に関するコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の市からの委託形態だと、社会福祉協議会に自由があるわけではないので、その意味では、指定管理の方が創意工夫してやっていける可能性がある。 ・ 委託のあり方、事業の中身について検証する必要がある。その検証を踏まえたうえで、今後継続するのか、効率的なやり方、質を高めるため、新たな担い手がいるのかも引き続き検討する必要がある、という意味で「見直し・改善」とした。